

家きん飼養者の皆様へ

夏でも鳥インフルエンザ対策を！

向暑の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。

昨シーズンは野鳥や水などの環境材料からの鳥インフルエンザの検出が多く、大変緊張感のあるシーズンとなりました。幸い愛知県内における家きん農場での発生がなかったものの、9件12農場で高病原性鳥インフルエンザが発生しました。さらに近隣諸国においても依然、6月末になっても中国や韓国、台湾での発生は続いております。鳥インフルエンザが流行する時期でなくても、シーズン中と変わらぬ侵入防止対策をよろしくお願ひします。

★ 野鳥、ねずみなどの野生動物対策

家きん舎の内部及び外部から点検し、野生動物が家きん舎に侵入できる経路がある場合は修繕を行ってください。

→防鳥ネットなどの破損部位の点検

→家きん舎の壁面の破損や、家きん舎の屋根と壁の隙間の点検

★ 家きん舎に入る場合の対策

ウイルスを持ち込まないよう、衣服や靴の交換や十分な消毒を行ってください。

★ 上記対策を含め、飼養衛生管理の定期的な点検・確認

(特に警戒が必要な農場)

- ・ 池などの野鳥生息地の近くにある場合
- ・ 野生動物の生息しやすい環境にある場合

また、10月より鳥インフルエンザ強化モニタリングが始まります。検査の対象となった農家の皆様はご協力よろしくお願ひします。